

蛇崩遺跡

本校は校舎改築のため、本年4月より三軒茶屋校舎(仮設)に移転いたしました。旧校舎は現在、倉庫等の取り壊し等が終了し、財務局への引き渡し完了いたしました。この校舎建て替えに伴いまして、法的に義務付けられております埋蔵文化財の試掘が行われ、縄文土器や住居跡が発見されました。校庭の一部を試掘しただけなのですが、900を超える土器の破片等が発見され、埋蔵文化財が大変に多かったこと、縄文遺跡のさらにその下に旧石器時代の遺跡があったことから、本格調査を行うとの連絡がありました。



現在の三軒茶屋校舎は、3年4ヵ月後に使用を終了し、令和9年4月より池尻の新校舎に再度移転する予定でした。しかし、本格調査となりますとその時期がずれることが予想できます。今月中には何年先に新校舎が使用できるようになるのかが正式に決まりますので、決まり次第ご連絡いたします。新校舎移転の時期がずれても、それまで現在の三軒茶屋校舎を使用することになり、地元自治会さんのご理解を既に得ております。

縄文時代は、自然を愛し、人を愛した時代と言われており、争いの跡は皆無です。また、洞爺湖近くにある入江貝塚では、障害があり歩けなかった子供を大切に成人まで育てあげ、丁寧に埋葬してある人骨も発見されています。このようなSDGsに通じる精神性が高く評価され、北海道・北東北の縄文遺跡群は、世界文化遺産に認定されました。世界から高く評価されている縄文遺跡が、前校舎の下から発見されたのですから、しっかり調査していただき、優しかった縄文時代の人の想いの上に、優しさあふれる学び舎を作っていきたいと考えています。遺跡の名前は“蛇崩(じゃくずれ)遺跡”というそうです。

部活動紹介 ～表現活動部～

練習がんばってます！

表現活動部は、12月23日(土)に行われる、第32回総合文化祭「舞台芸術・演劇祭」に出演します。演目は「ダンスパフォーマンス『魔法』」です。ぜひ、会場へ応援にきてください。チケットの御予約はHPから。



部活動紹介 ～総合文化部～

テンプル大学との交流を行いました。

総合文化部では、テンプル大学の編み物部の学生と交流を行っています。10月の交流では、テンプル大学から4人の学生が来校し、指編みを教えてもらいました。とても明るいテンプル大学の皆さんに、英語も交えて優しく教えてもらい、生徒にも笑顔がたくさん見られました。

今後、総合文化部では2月の総合文化祭に向けて、絵の制作を行っています。

